	平成 25 年 4 月 23 日 (2013 年)		
吹田市長	あて		
	住所 東京都千代田区神田駿河台四丁目二番地五		
	※注1 高砂熱学工業株式会社 氏名 即		
	事業所 取締役社長 大内 厚		
	電話 (03) 3255 — 8212		
 事業の名称	(仮称)吹田市桃山台2丁目PJ 新築工事		
対象事業区域	吹田市 桃山台2丁目3-13		
	住 所 大阪市北区大淀中1丁目1番93号		
※注1	積水ハウス株式会社 大阪特建支店		
設計・代理者	氏名		
	電 話 () 一 (担当者:)		
※注1	住 所 大阪市北区大淀中1丁目1番93号		
┃ ┃ エ 事 施 エ 者	積水ハウス株式会社 大阪特建支店 氏 名		
	電話() 一		
	平成 24 年 (2012 年) 6 月 18 日 から		
事業予定期間	平成 25 年 (2013 年) 3 月 29 日 まで		
	計画部分 既存部分 合 計		
	対象事業面積 2,284.43 ㎡ ㎡ 2,284.43 ㎡		
	建築面積 1,053.39 m n 1,053.39 m		
事業の規模	延べ面積 3,642.76 m m 3,642.76 m		
	最高の高さ 17.92 _m m		
	造・一部 造 構 造・階 数		
	# L 6 階 地 下 0 階		
	区分 🗵 新築 🗆 増築 🗆 改築 🗆 新設 🗆 増設		
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業		
	□ 宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:)		
	☑ 建築物の新築又は増改築の事業		
事業の目的・内容	│		
	│		
	し こ そ の 他 (:) 丿		
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 受 付		
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる		
 	・ガイドライン取組事項チェックリスト		
添 付 書 類 	・工事関連車輌通行ルート図・その他必要と認める図書 ・その他必要と認める図書 第		
	- ロスルペルをすて 前のはないの言		

環境まちづくりの概要(1)

事業者の環境方針

環境ソリューション企業No1を目指す事業活動において、省エネルギー・省CO2技術を積極的に開発し、市場に展開し、顧客との協議により設備運営を最適化して、低炭素社会の実現に貢献します。 環境ソリューション企業として、環境法令厳守を徹底し環境汚染防止に努めると共に、施工現場やオフィスでの省エネルギー・省CO2を積極的に推進します。

当該事業における 環境まちづくり方針

既存の地形を活かし、造成などを伴わない土地利用計画とし、建物外周部へは緑化に努め、緑のネットワークを構築し、地域に与える景観配慮に努めます。建物屋上へは太陽光発電システムを搭載し、積極的に自然エネルギーを活用し、共用及び専用部の照明器具はLED照明化、駐車場へはEV車対応充電器を設置したEV車専用区画を設けます。断熱性を高めると共に開口部へは遮熱断熱複層ガラスの採用により、暮らしの中で冷暖房の負荷を抑制します。緑化の推進、自然エネルギーの活用、省エネ機器の採用、断熱性向上により低炭素社会の実現に寄与する建築計画とします。

1. 実施率と主な実施内容

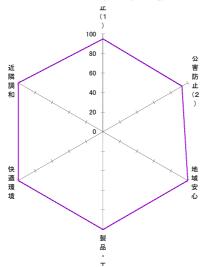
1-1. 工事中

実施率 96.1 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数50該当なしを除いた項目数52

---:方針, -: 実施報告書



公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
19	14	5	3	4	5
20	15	5	3	4	5
公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
19	14	5	3	4	5
20	15	5	3	4	5
	19 20 公害防止(1) 19	20 15 公害防止(2) 19 14	19 14 5 20 15 5 公害防止(1)公害防止(2)地域安心 19 14 5	19 14 5 3 20 15 5 3 公害防止(1)公害防止(2)地域安心 製品·工法 19 14 5 3	19 14 5 3 4 20 15 5 3 4 公害防止(1)公害防止(2)地域安心 製品·工法 快適環境 19 14 5 3 4

主な実施内容

- ・排出ガス対策型、低騒音・振動型の建設機械を使用しました。
- ・騒音・振動を伴う作業については、時間帯に配慮しました。
- ・飛散のおそれのある土砂搬出等の作業においては散水を行いました。
- ・周辺地盤や家屋などに影響を及ぼさない工法を採用しました。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

実施率 87.5 パーセント

実施する・一部実施するの項目数

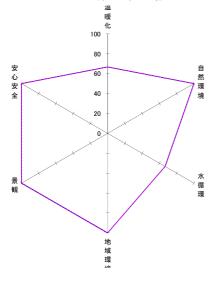
28

(小数点第2位以下切り捨て)

該当なしを除いた項目数

32





	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
報実	6	5	2	9	3	3
告 書施	9	5	3	9	3	3
	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方針	6	5	2	9	3	3
針	9	5	3	9	3	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入

CO2削減量

15.0 t-CO2/年

導入内容

※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

太陽光パネルの設置(27.96kw)、全住戸に高効率給湯機の設置、LED照明器具の設置、 EV車用充電器の設置

(2)緑地面積

緑化率

22.7 %

条例基準分

20.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

ごみ置場屋上への緑化を実施しました。(約12㎡)

(3)雨水利用

雨水貯留量

うち雨水利用量

. .

利用目的

【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

- (4)上記以外の主な実施内容
 - ・建物へに負荷を抑制(コンクリートのかぶり厚さを確保)することで長寿命の建物を施工しました。
 - ・地域と調和のとれた景観に配慮しました。
 - ・防犯対策を実施し安心安全に配慮した建物としました。

環境まちづくりの概要(3)

: 7	51
-----	----

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容

2	その州(太ガノビラ	イン記載の取組事項以	从に宝体! た理培士	ちづくりの取組を記載く	ださい)
J.	てい他(本カイトフ・	1 Jacaxujixan 골비以	グトに一条・かいしょここほり見る	いっしくりいか THY ALEXY	ノニベレシ。ノ

配慮)	大声::::	+1.4		
電気日動甲用の	充電設備を設置し	ました。		

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン 取組事項を実施しました。

	取 組 事 項	実 施 の 有 無	実施内容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚 建設機	5染や騒音などの公害の防止します。 ^{幾械}		
1	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設 機械を使用します。	□ 実施しない □ 該当なし	・排出対策型、低騒音・振動型の建設機械を使用しました。
2	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワー ショベルなど)を使用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・市場に出回っておらず、確保が出来ず、低燃費型の建設機械は使用できませんでした。
3	排出ガスの低減を図るため、アイドリングをし ません。	□ 実施しない □ 該当なし	・新規入場者教育の時に、アイドリングをしないよう作業者に指示しました。
4	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	□ 実施した □ 一部実施した	・新規入場者教育の時に、空ぶかしを抑制するなど環境に配慮した運転を行うよう作業者に指示しました。
5	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、 稼働台数を抑制します。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・日常の打合せにより無理のない工事計画を立て、稼働台数を抑制しました。
6	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準 化を図ります。	□ 実施しない □ 該当なし	・日常の打合せにより無理のない工事計画を立て、工事の平準化を図りました。
7	機械類は適切に整備点検を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	機器類は使用前、週、月次の整備点検を行いました。
工事関	引連車 両		
8	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用しま す。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・協力工事店に対して要請して、燃費や排出ガス性能のよい車両を一部使用しました。
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車 両で確実に遵守します。	☑ 実施した □ 一部実施した	・大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で入場時に確認し遵守しました。
10	工事関連車両であることを車両に表示します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・工事関連車両であることを生コンミキサー車・ダンプ車、仮設材運搬車に表示しました。
- 11	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺 道路の状況、住居の立地状況などに配慮し て、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避 けて設定します。	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺道路の状況、住居の立地状況などに配慮して、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避けて設定しました。
12	建設資材の搬出入計画において、適切な車種 を選定することで車両台数を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	- 建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定して車両台数を 抑制しました。
13	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒 歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りな どを奨励し、工事関連の車両台数を抑制しま す。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを推奨し、工事関連の車両台数を抑制しました。
14	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際に は、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮しま す。	▽ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	- 新規入場時に土砂の積み降ろしに従事する作業員に教育し、騒音や振動を極力発生させないようにしました。
15	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現 地でタイヤ洗浄を行います。	□ 実施した □ 一部実施した	・工事車両入場口に洗車設備を設け、現地でタイヤを洗浄しました。

	取組事項		実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音や水質汚濁に配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した	・コンクリートミキサー車の高速回転は作業員に対する教育で極力行いませんでした。洗浄水は回収し適正に処理しました。
17	工事関連車両を場外に待機させません。	図 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・工事敷地周辺で工事関連車両は待機をしないようにしました。
18	クラクションの使用は必要最小限にします。	☑ 実施した □ 一部実施した	・新規入場時に作業員に教育し、不必要なクラクションを発生させない ようにしました。
19	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・新規入場時に作業員に教育し、アイドリングをしないようにしました。
20	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・新規入場時に作業員に教育し、空ぶかしを抑制するなど環境に配慮 した運転を行いました。
工事方			
21	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・敷地境界付近には高さ3mの鋼板の仮囲いを設置しました。
22	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・新規入場時に作業員に教育し、建設資材の落下を防止するなど丁寧 な作業を行いました。
23	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない 工法を採用します。		・杭の施工は、騒音や振動の少ない工法を採用しました。
24	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。		騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行いました。
粉じん	,・ア スベスト		
25	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に 行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・解体、掘削作業などの際には、散水を十分に行いました。
26	土砂などの堆積場で、砂じんが飛散するおそれがある場合は、飛散防止対策をします。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・必要に応じて、土砂などが露出して飛散のおそれがある場合はシート で覆いました。
27	建築物などの解体の際は、アスベストの使用 の有無を調査するとともに、調査結果を近隣住 民の見やすい位置に掲出し、市長にも報告し ます。		・建築物などの解体の際は、アスベストの使用の有無を調査するとともに、調査結果を近隣の見えやすい位置に掲示し、市長にも報告しました。
28	アスベストを含有する建築物などの解体の際 には、確実な飛散防止措置を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・アスベストを含有する建築物などの解体の際には、確実な飛散防止 措置を行いました。
水質	5濁・土壌汚染・地盤沈下		
29	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しま す。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・道路などへの濁水や土砂の流出防止のため、場内に水槽を設置し、 適正に処理して下水に放流しました。
30	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶 や塗装器具の洗浄液は適正に処分します。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液 は産業廃棄物として処理しました。
31	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡散防 止措置を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・敷地の履歴を調査した結果、工場等の履歴が無かった為、汚染物質の拡散防止措置は必要ありませんでした。

	取 組 事 項	実 施 内 容 実 施 の 有 無 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実 い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)	!施しな
32	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない 工法を採用します。		
33	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし□ 実施しない □ 該当なし	<u>-</u> 0
悪臭・	廃棄物		
34	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、 溶解温度管理など臭気対策を行います。	□ 実施した □ 一部実施した ・アスファルトを溶融させる作業はありませんでした。 □ 実施しない ☑ 該当なし	
35	現地では廃棄物などの焼却は行いません。	☑ 実施した □ 一部実施した ・現地での廃棄物の焼却は行いませんでした。 □ 実施しない □ 該当なし	
36	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB 使用機器、空調機器などに使用されているフロ ン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実 施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な 処理を行います。		を工事実
37	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を 行います。	□ 実施した □ 一部実施した ・仮設トイレは常に清潔に保ちメンテナンスを行いました。 □ 実施しない □ 該当なし	
地域の	安全安心に貢献します。		
38	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取 りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故 防止に努めます。	▽ 実施した □ 一部実施した・近隣自治会などから地域の交通情報の聴きとりを行い、十分の警備員を配慮し事故を防止しました。	分な人数
39	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事 現場周辺の交通安全に配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した ・児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交流に慮しました。	通安全に
40	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じます。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし・工事現場の夜間や休日は出入口を施錠して、工事関係者以ち入りを防止しました。	人外の立
41	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。	□ 実施した □ 一部実施した ・児童や生徒の見守りや声かけを行いました。 □ 実施しない □ 該当なし	
42	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に 参加します。	□ 実施した □ 一部実施した ・近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に参加しました。 □ 実施しない □ 該当なし	
環境に	・配慮した製品及び工法を採用します。		
省エオ	マルギー 		
43	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水など の消費を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した ・使用機器類については、エネルギー効率等を考慮して一部 燃費等の消費を抑制しました。	採用し、
省資源	原		
44	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。	□ 実施した ☑ 一部実施した 建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生しました。 □ 実施しない □ 該当なし	生を抑制
45	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量 します。	▽ 実施した □ 一部実施した ・計画的に資材の梱包を行い、廃棄物を減らしました。 □ 実施しない □ 該当なし	
快適な	□ 環境づくりに貢献します。	·	
景観			
46	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した ・高さが3mで白色の鋼板製仮囲いを設置して、美観に配慮し □ 実施しない □ 該当なし	ました。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を 与えないよう、設置場所などを工夫します。	□ 実施した □ 一部実施した	・近隣住民や通行者に配慮した位置に仮設トイレを設置しました。
周辺0)環境美化		
48	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周 辺道路の清掃を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・新規入場時に教育し、ポイ捨てしないようにしました。周辺道路の清掃 を行いました。
		□ 実施しない □ 該当なし	
	建設資材、廃棄物などの場内整理を行います。	☑ 実施した □ 一部実施した	・場内で、仮設資材や廃棄物の整理整頓を行いました。
		□ 実施しない □ 該当なし	
ヒート	アイランド現象の緩和		
50	夏期において水道水以外の用水が確保できる 場合は、周辺道路などに打ち水を行います。	□ 実施した □ 一部実施した	・水道水以外の用水の確保ができませんが、水道水にて前面道路に 散水を行いました。
		□ 実施しない ☑ 該当なし	
地域と	の調和を図ります。		
工事談	说明·苦情対応		
51	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るよう	☑ 実施した □ 一部実施した	・近隣説明会等で工事の説明を行い、仮囲いには週間工程を掲示しました。必要に応じて工程の予定を配布しました。
	にします。	□ 実施しない □ 該当なし	
52	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先など を掲示するとともに、苦情が発生した際には真	☑ 実施した □ 一部実施した	・近隣自治会に作業所の連絡先を伝達しました。仮囲いにも連絡先を 掲示しました。苦情をお聞きし真摯に対応しました。
	摯に対応します。	□ 実施しない □ 該当なし	14.7.00.07.0 I INCOMIC OXTITUTIONOTO
周辺0)教育・医療・福祉施設への配慮		•
53	工事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明するとともに、施設での行事や利用状況	☑ 実施した □ 一部実施した	・近隣する千里敬愛幼稚園に工事の説明を行いました。また行事や利田が記して、東の計画さないました。
	に配慮した工事計画にします。	□ 実施しない □ 該当なし	用状況に配慮して工事の計画を行いました。
54	騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をし	□ 実施した □ 一部実施した	・近隣する千里敬愛幼稚園に対して騒音、振動などに特段の配慮をしました。
	ます。	□ 実施しない □ 該当なし	ました。
周辺の)事業者との調整		•
	工事が重複することによる複合的な騒音、振		
55	動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域に おける大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能	□ 実施した □ 一部実施した	・工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施工者などは変せるといるのとませる。
	な限り工事計画などを調整するように努めま す。	□ 実施しない □ 該当なし □	と連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取租事項を実施しました。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温	温暖化対策を行います。		
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度を活用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建築物環境性能表示制度 は受けませんが、住宅の品質確保の促進等に関する法律による性能 評価をうけることによって建築物の環境性能の向上をしました。
	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器を採用します。	図 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・照明はLED照明、給湯器は高効率給湯器を採用しました。
58	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネル ギーを活用します。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・太陽光パネルを設置しました。(27.96kw)
	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェ ネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入 を検討します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入はしませんが、高効率給湯器を全住戸設置しました。
60	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを 冷媒として使用する装置を有する設備(空調機 器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置 後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排 出)が発生しないよう安全設計に配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・空調機器の設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が 発生しないように施工しました。
61	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させる ことで、建築物のエネルギー負荷を抑制しま す。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・次世代省エネ基準、開口部は遮熱断熱複層ガラスとしました。
62	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を 施工します。	□ 実施した □ 一部実施した	・住宅の品質確保の促進等に関する法律による性能評価のRC造等の 劣化耐久対策の等級2としました。
	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的に採用します。	□ 実施しない □ 該当なし	・リサイクル製品及び環境保全に配慮した製品を採用しました。
64	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが 少ない建設資材などを積極的に採用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが少ない建設資材などは コスト面の調整がつかず、採用しませんでした。
自然環	環境を保全し、みどりを確保します。		
65	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査を行い、動植物の生息や生育環境に配慮します。	☑ 実施した □ 一部実施した□ 実施しない □ 該当なし	・地域の気候風土に適した日本の在来種を植え、生態系ネットワークを つくりました。
66	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、できるだけ伐採を避け、既存の植生や地形を活かして設計します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・既存の地形を活かした土地利用計画としました。
67	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表 土は適切に保管し、植栽などに利用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	・既存の地形を改変しませんでした。
	事業計画地に隣接する緑地などがある場合には、緑地などを連続させて配置するなど、生物の生息空間の保全に努めます。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・隣接する緑地は連続させました。
69	駐車場の緑化を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	・駐車場は機械駐車の為、緑化できませんが、駐車場周辺は緑化に努めました。
70	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行います。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・ごみ置場の屋上を緑化し、景観向上を図りました。(約12㎡)

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)									
71	開発により生じた法面に対して緑化を行います。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	・開発により生じた法面はありませんが既存法面を活かし緑化しました。									
72	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定します。	▽ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・地域の気候風土に適した日本の在来種を植樹しました。(エゴノキ、シラカシ、ヤマボウシ、イロハモミジ、ソヨゴ)									
水循環を確保します。												
73	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を導入し、水資源を有効に利用します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・敷地規模が大きく、メンテナンスに係るコスト等の理由で管理が困難な為、雨水を利用する設備は設置しませんでした。									
74	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制するために、雨水貯留型施設又は雨水浸透施設 等を設置します。		・敷地内に浸透升を設置しました。									
75	オープンスペース、駐車場などについては雨水浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採用を検討します。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・オープンスペース緑化に努め、通路の一部はインターロッキングを採 用しました。									
地域σ)生活環境を保全します。											
	騒音・振動等 空調機などの騒音を発生させる設備の設置に おいては、低騒音型機器の採用、壁などの遮 音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音 や振動対策を行います。		・空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、設置場所に 配慮するなど、騒音や振動対策を一部しました。									
77	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考えられる場合には、予め窓などに防音サッシを 設置します。		・近くに幹線道路や鉄道はありません。									
	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画とします。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・機械式駐車場は敷地中心に配置し、周辺環境へ配慮しました。									
79	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、 換気扇、排気口、廃棄物置場の位置などに配 慮します。		・窓、換気扇等の開口部は敷地から3m以上離した位置に設置し近隣への配慮に努めました。ゴミ置場の開口は敷地内に向け近隣への悪臭を防止しました。									
80	ボイラー、タービン、エンジンなどの機器を設置 する場合は、万全の排出ガス対策を行いま す。	□ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない ☑ 該当なし	・ボイラー、タービン、エンジンなどの機器は設置していません。									
81	屋外照明や広告照明については、近隣住民に 対する光の影響を抑制します。	▽ 実施した □ 一部実施した	・近隣住民に対する光の影響を抑制しました。									
82	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による 太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮します。	□ 実施した ☑ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・太陽光パネルの傾斜角度で光の影響を考慮しました。									
83	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用します。	▽ 実施した □ 一部実施した	・塗料は揮発性有機化合物の含有率が低いものを使用しました。									
84	周辺に教育施設、福祉施設や医療施設がある 場合は、騒音、振動、通風、採光などに特段の 配慮をします。)	・周辺に千里敬愛幼稚園がありますが隣接地では無い為、騒音、振動、採光などに影響がありません。									
中高原	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・											
85	日照障害については、建築基準法の日影規制 対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた 地域についての日影図を作成し、発生する範 囲を事前に把握し、近隣住民に説明するととも に、できる限りその軽減をします。	□ 実施した □ 一部実施した	・日照障害については、建築基準法の日影規制対象地域(商業と工業地域を除く)を含めた地域についての日影図を作成し、発生する範囲を事前に把握し、近隣住民に説明するとともに、できる限りその軽減をしました。									
	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明します。	☑ 実施した □ 一部実施した □ 実施しない □ 該当なし	・電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明しました。									

取 組 事 項				実 施	<u></u>	有	無	実施内容 (実施、一部実施した場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)				
87	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信 施設などによる改善対策を行います。			をした 実施しない			部実施した 該当なし	本計画により電波障害は発生しませんでした。				
88	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれが ある場合は、適切な対策を講じるよう努めま す。	_	実施	をする 実施しない			部実施する 該当なし	・南面のバルコニー手摺の上の東側に目隠しルーバーを設置しました。				
景観まちづくりに貢献します。												
89	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮します。	_		色した	_		部実施した	・既存の自然地形を活かし、建物外周部は緑化を図り、緑のネットワークを構築し地域に調和するようにしました。				
				実施しない	, \ _		該当なし					
90	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の 類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を			もした	_		部実施した	・建物ンルエットは単純な形状とならないよう、最上階端住戸を減じるなどし、スカイラインに変化をつけました。建物色調やバルコニー及び廊下デザインを工夫することで近景での変化と遠景での調和をとりまし				
	行います。			実施しなし	, \ -		該当なし	<i>t</i> .。				
91	景観形成に関わるガイドラインや方針を有する エリアではガイドラインなどに配慮した計画と 設計を行います。			色した	_		部実施した	・重点地区に入っていません。				
	改善で行いより。			実施しない	·,	✓	該当なし 					
92	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるときは、景観形成地区の指定について協議し		実施	色した		-	部実施した	・計画地は1ha以下です。				
	ます。			実施しなし	, \	✓	該当なし					
93	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進 します。	V	実施	色した			部実施した	・建物計画には自然素材を採用するなど、色調もアースカラーとすることで景観向上に努めました。				
				実施しなし	۸,		該当なし					
94	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、 景観まちづくりを推進します。		実旅	もした		_	部実施した	・屋外広告物はありません。				
				実施しない	۸,	✓	該当なし					
安心安全のまちづくりに貢献します。												
		[7]	実が	もした	П	_	部実施した					
95	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者 が安全に通行できる空間を整備します。	I_		実施しない			該当なし	・歩車分離をし、歩行者が安全に通行できる空間を整備しました。				
96	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備 機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した 適切な整備を行います。	V	実施	色した		_	部実施した	・屋外避難階段を2箇所設置して、バルコニーには避難ハッチを設置				
				実施しない	۸		該当なし	を				
	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的 に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を 行います。	V	実施	色した		-	部実施した	・エントランスにはセキュリティを施し、敷地内の要所に防犯カメラを設				
				実施しない	۸,		該当なし	置しました。				

